

平成三十年一般入試学力検査

第一时限問題 国語

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になつています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受験番号をこの用紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(8)ページまであります。(8)ページの次からは白紙になつています。受験番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受験番号	第
姓	番
氏名	名

一 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問い合わせに答えなさい。

〔1〕 年寄りは長く生きてきたぶん、若い人よりも多くのことを知っている。

より多くの経験も積んでいる。だから、年寄りは、若い人に敬意を表される。儒教にもとづく「長幼の序」という考え方とは、中国文化の影響を受けた東アジアの広範に浸透した。儒教圏に入る日本にもこの考え方を行ったり、長らく企業を支えてきた年功序列制度も、その精神にもとづいている。儒教文化圏を離れても、この精神は広く行きわたつている。「老いた猿は罠にかかるない」と、ギリシャでは言われる。フランスでは、「狩りは老犬にかぎる」と言い、ポーランドでは、「年功は書物よりも多くのことを知つていふ」と語られる。英語では、「The older, the wiser.」あるいは「Years bring wisdom.」となる。意味は、いざれも「亀の甲より年の劫」だ。

〔2〕 ところで、アメリカやカナダでは、年長者の名前を平気で呼び捨てにする。組織の上司にも、ニックネームで気軽に声をかける。⁽¹⁾ 「長幼の序」にもとづいて、年長者の呼び方に気を配る日本人としては、違和感を覚える習慣だ。しかし、呼び捨てだからといって、年寄りが粗末に扱われているわけではない。呼びかけられた年長者自身も、それを不快に感じることはない。むしろ、慣れてしまえば、この習慣は簡単でよい。また、言葉遣いとは別に、年長者への敬意が払われている点では、アメリカやカナダも変わらない。

〔3〕 昔の産業は狩猟や採集に始まり、農業、漁業、林業などの第一次産業がどこでも主流を占めた。自然を相手にする産業は、⁽²⁾ 的な作業が

主流となるため、経験とそれにもとづく知識や勘がモノを言つた。長老がその日の風向きを感じて何か言えば、社会共同体全体の行動を左右する重みがあつた。また、子どもたちの教育に、老人が果たした役割も大きかった。昔話、伝説、寓話などを通して、老人が子どもたちに、人の道や社会の成り立ちを教えた。サハラ砂漠以南に広がるアフリカの部族社会では、夜ごと火を囲んでの長老による説話語りが習慣となつていて、第二次産業、第三次産業が優位となつても、進化のテンポが遅いうちは、一定の技術、技能、知識に耐久性があつたため、経験豊富な年長者の力量に頼ることが多かつた。年寄りはつねに敬意をもつて扱われ、「亀の甲より年の劫」ということわざは、世界じゅうで通用するものだつた。

〔4〕 しかし、世の技術革新が速度を増し、新しい価値観が従来のそれを一举にぐつがえす時代になつた。新しい知識や技術もすぐに陳腐化するなか、年寄りが身につけてきた古い知識や知恵は、従来の輝きを失つた。老人の昔話に熱中した子どもたちも、次々と出る最新のコンピュータゲームに心を奪われるようになつた。グローバリズムが、世界じゅうに似たような傾向をもたらしている。変革の時代についていけない古い人間は、ただ置いていかれる存在となつていくのか。年寄りたちの地位は地に落ちてしまつたのか。年の劫の価値は、亀の甲と同程度、あるいはそれ以下となつてしまふのだろうか。

〔5〕 そのいっぽうで、少子高齢化が進んでいる。日本を含む先進諸国の人々が、同じ傾向にある。西ヨーロッパ諸国の多くも、すでに高齢社会に入つて、一人っ子政策を続けてきた中国も、まもなく同じ社会問題を抱えようとしている。日本には、これから高齢化する団塊の世代がいる。アメリカでも、戦後約十五年にわたつて生まれたベビーブーマー

が、順次、高齢者世代に加わっていく。

〔6〕 ⁽³⁾ このような世界的な社会傾向のなかで、高齢者を敬う雰囲気が薄れ

ている。どの国も年金・福祉問題に頭を悩ませ、多すぎる年寄りが若い世代からお荷物視される傾向が出ていて。それに対して、高齢者が相互扶助のために団結する動きもある。アメリカの非営利組織であるAARP（旧全米退職者協会）は、四〇〇〇万人近くの会員数を抱え、政府の高齢者関係の施策に大きな影響力を行使している。

〔7〕 これから高齢者問題を抱える国々では、高齢者の活用が社会活性化の大重要な鍵になる。年寄りをお荷物扱いするのではなく、彼らの年の劫をいかに社会で活用するかだ。いくら技術革新が急速とはいえ、新しい事象はどれも過去の知恵の蓄積をベースに生まれている。年寄りの知恵を無視して何か新しいものが生まれても、それはバランスを欠き、実社会で十分に機能するものとはならないだろう。年寄りが支配する「老害社会」は問題だが、年の劫を軽視した社会も不健全だ。年の劫の活用具合が、その国の活性度や健全性を測るものさしになると思う。

（布施克彦『世界の常識Ⅴ S日本のことわざ』による）

（注）○①～⑦は段落番号である。

○年功序列制度＝官公庁や企業などにおいて勤続年数、年齢などに応じて役職や賃金を上昇させる人事制度・慣習のシステム。

○陳腐化＝ある製品や設備が時代遅れになつたり、効率が悪くなつたりしたため、価値が減少してしまうこと。

○グローバリズム＝地球上を一つの共同体とみなし、世界の一体化を進める思想。地球主義。

○団塊の世代＝第二次世界大戦直後数年間にベビーブーム時に生まれた

世代。

○相互扶助＝互いに助け合うこと。

○事象＝出来事やことがら。

(一)

⁽¹⁾ 「長幼の序」にもとづいて、年長者の呼び方に気を配る日本人としては、違和感を覚える習慣だ。とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのなかから選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア アメリカやカナダでは年長者を尊敬する習慣がないため、日本人には慣れないということ。
イ アメリカやカナダでは敬意を払う方法として呼び捨てやニックネームで呼ぶため、日本人には理解できないということ。

ウ 日本人は年長者を呼び捨てやニックネームで呼ぶのは失礼なことと考えているため、アメリカやカナダの呼び方はよくないと感じるということ。

エ 日本人は誰に対しても呼び捨てやニックネームで呼ぶのは好ましくないという考え方があるため、ましてや年長者にその呼び方をするのはとんでもないと思つていてこと。

〔2〕 ⁽²⁾ にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでのなかから選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 効率 イ 循環 ウ 統一 エ 能動

〔3〕 第四段落が本文の中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでのなかから選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第三段落の内容とは視点を変え、年寄りが敬われえない例を挙げ、少子高齢化の問題を述べる第五段落につなげている。

イ 第三段落の内容とは対照的に、時代の変化によって高齢者が敬意を持たれなくなった理由を挙げ、新たな高齢者問題について述べる第五段落につなげている。

ウ 第二段落の内容とは対照的に、高齢者を尊敬しないことによって生まれる問題点を挙げ、世界の変化によって更に進化する問題について述べる第五段落につなげている。

エ 第二段落の内容とは視点を変え、新しい価値観の導入によって年寄りに対する考え方があわってきることを説明し、例を挙げてそのことを分かりやすく説明する第五段落につなげている。

(四) ③ このような世界的な社会傾向のなかで、高齢者を敬う雰囲気が薄れているとほぼ同じ内容が書かれている部分を、本文から一文で抜き出して、始めの五字を書きなさい。

(五) 筆者は第七段落で、高齢者問題を抱える国の高齢者の活用について述べている。それを要約して、六十字以上七十字以下で書きなさい。ただし、「知恵の蓄積」「機能する」という二つのことばを使って、「高齢者問題を抱える国での高齢者の活用は、……」という書き出しで書き、「……大事である。」で結ぶこと。二つのことばはどのよう順序で使つてもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(六) 次のアからオまでのなかから、その内容がこの文章に書かれた筆者の考えに最も近いものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

二 次の(一)、(二)の問い合わせに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 最近の会社の衰退ぶりは著しい。

② 目が慣れると、薄暗い教室に置かれたもののリンカクが浮かび上がってくる。

(二) 次の文中の(③)にあてはまる最も適当なことばを、漢字二字で書きなさい。

どこまでも疑心(③)になつてゐる友達に私は笑つた。

ア 年寄りが若い人に敬意を表されるのは、儒教圏での独特の考え方であつて、それ以外の国では通用しない。

イ 年寄りの昔話や体験談というものが子どもたちのしつけにつながつていた。

ウ 第一次産業から第二次産業、第三次産業が中心になってきてから、一段と年寄りの存在が大きくなつてきた。

エ グローバリズムが世界に浸透するようになつてからは、年寄りの知恵といふものは必要となくなつてしまつた。

オ 年寄りを軽視する社会でなく、年寄りを中心とした社会を作ることが大切である。

※ 左の枠は、(五)の下書きに使つてもよろしい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

高	齢	者	問	題
の	高	齢	者	を
で	の	の	抱	抱
の	活	活	え	え
は	用	用	る	る
			、	、
				国

70 60

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問い合わせに答えなさい。

〔1〕宮沢のトラックが戻ったのを知つて、事務所のドアから、ゲンさん」と、富島玄二が飛び出してきた。経理担当の富島は、今年六十二歳。勤続四十余年のベテランで、宮沢の父親である先代社長の頃から勤める番頭である。「いい状態ですね。さすが菱屋さんだ」荷台のロープをほどき、毛布を取つて見た富島はいい、よかつたですな、といつたものの少々①顔をした。「何かあつたか」長年のつきあいだから、富島の顔を見れば、心中はすぐにわかる。「実は、返品が来ちまいまして」その視線を追つて振り返つた宮沢は、倉庫の入り口付近に積み上げられた段ボール箱に気づいた。「検針洩れです」思わず舌打ちし、ちょうど倉庫の中から姿を現した人影をむかつて、「大地！」と声を上げた。

〔2〕一瞬だけふてくされた顔を見せた大地が、渋々、といった態度でやつてくる。今年二十三歳になる、宮沢の長男だ。地元の大学を卒業したものの就職に失敗して、実家であるこはぜ屋で働きはじめたのはこの四月からだ。検針——つまり、製品に針などが混入していないかのチェックは大地の仕事であった。「なにやつてんだ、お前」近くまで来た大地を宮沢は叱りつけた。「向こうの連絡ミスで、予定より前に取りにきちまつたんだよ。仕方ねえだろ」大地の言い訳に、「待つてもらえよ」容赦なく、宮沢はいった。「お前な、滅多なことじや針なんか入らないと思つて甘く考へてるだろ。だけどな、何かの拍子に入ることはあらんだよ。検針洩れなんか指摘されたらウチの面目は丸つぶれた。もっと自分の仕事に責任持て」返事の代わりに聞こえてきたのは、これ見よがしのため息だ。仕方なく家業を手伝つていいんだとでもいいたいんだろう。

〔3〕「まあ、社長。大徳さんも、再検針が済んだらすぐに出荷していいつ

ていつてくれますから、今回のところは」富島はいい、大地に向かつて、「大ちゃんは、早いとこ検針、済ましちまいな。クルマ手配するから」と気を遣う。「ゲンさんさ、あんまり甘やかさないように頼むよ」腹の虫の治まらない富島はいった。「あんな態度じや、どこに行つたつて勤まりやしねえ。厳しくビシッといつてやつたほうがいいんだ」就活つていうんですか。失敗してがつくり来てたの見ちまつてますからねえ」子供の頃からかわいがつてくれた富島だけに、大地には少し甘い。「ほんと、他にいかないでこのこはぜ屋を継いでくれるといいんですが。あ、すんません」②ちらりと宮沢を見て小さく舌を出した富島は、宮沢が何かいう前に、「あと、頼むぞ」と安田に言い置き、さつさと事務所に逃げていつた。

〔4〕息子には繼がせない——。それはかねがね、宮沢が公言していることであつた。大地がここで働いてるのは、希望の会社に就職するまでのいわば腰かけだ。世の中にはいろんな仕事があるが、すべての仕事が右肩上がりの成長を遂げられるわけではない。成長著しい業種もあれば、逆に衰退していくものもある。どう控えめに見ても、——実に残念なことだが——足袋製造業は、その後者に含まれてると宮沢は思うのである。自分の代くらは、なんとか食える。③、大地の世代までなんとかなるとは、到底、思えなかつた。いまですら売り上げ減に悩み、シンの部品ひとつ事欠く有様なのに、子供に繼がせられるわけがない。シのドアから富島が顔を出した。ソファに移動し、テーブルを挟んで向かい合つた富島は、手にした書類を一通、宮沢のほうへ滑らせて寄越す。資金繰り表である。「そろそろか」老眼鏡をかけて書類をのぞき込んだ宮沢に、「二千万円くらいですかね」と富島はいった。「今月末

か、遅くとも来月中には借りとかないと足りなくなりそうですわ」④わかつてはいることだが、言われた途端、宮沢は胸のあたりが重くなる感覚を覚えた。「先週、銀行に行つたついでに坂本さんには内々に打診しておいたんですけど」坂本太郎は、こはぜ屋が取り引きしている埼玉中央銀行の担当者だ。「明日にでも行つてくるよ」気の進まない仕事だが仕方が無い。銀行交渉は、経営者としての宮沢の務めであつた。

〔6〕「来月末までに二千万円、ですか」坂本は、宮沢の出した書類にじつと見入つた。宮沢が嫌いな瞬間である。いま坂本が何を考えているのか、思惑がどこにあるのか、まったく読めない。レントゲン写真を前に、医者の所見を待つてゐるような、落ち着かない気分になる。「先行きの業績は、どうですか」⑤顔を上げた坂本はきいた。「横ばい、かなあ」と宮沢。坂本は、やおら資料を脇に置くと、「二週間ほど時間をいただけますか」といった。その場で断られるかも知れない——。

銀行に借金に来るたび、いつも不安に苛まれている宮沢はとりあえず胸をなで下ろした。が、「でも社長、これから、どうされるおつもりですか」いつになく真剣な顔の坂本の問いに、一旦上げかけた腰を下ろす。「どうする、とは?」

〔7〕銀行の融資カウンターである。五十日でもない開店直後ということもあって、店内に客はまばらだ。「このままで、こはぜ屋さんの事業、伸びていきますかね」出てきたのは返答に窮する問い合わせだつた。「百貨店の新規営業とか、細々ながら販路を拡大していかなければいけないかな、といふ。とはいゝ、今までのつき合いで、性根の真つ直ぐなことはわかっているから、腹は立たない。」(B)「違う発想というと、どんな」坂本の意図が見えず、宮沢はきいた。「(C)」「喰つたきり、

(注) ○①～⑦は段落番号である。

○ 宮沢＝宮沢紘一。こはぜ屋の社長。

○ 菱屋＝創業百二十年を超える老舗足袋業者。最近不渡りを出して倒産した。

※不渡り＝手形や小切手の支払期日を過ぎても債務者から債権者へ額面金額が引き渡されず決済できないこと。

○ 安田＝安田利充。今年四十歳。気安い性格で面倒見がいい。若手工員たちのまとめ役的存在。

○ 資金繰り表＝現金収支をまとめた表。

○ 趨勢＝物事がこれからどうなつてゆくかというありさま。なりゆき。

一(6)一

(一) ① にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 浮かない イ 落ち着かない
ウ 不安そうな エ 不満げな

(二) ② ちらりと宮沢を見て小さく舌を出した富島は、宮沢が何かいう前に、「あと、頼むぞ」と安田に言い置き、さつさと事務所に逃げていった。とあるが、このとき富島が「逃げていった」心境として最も適当なものを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 長男には足袋業者として才能がないから「跡を継がせない」と公言している宮沢に対し、「跡を継いでくれたら」という意見を言ってしまったから。
イ 長男に足袋業者の跡を継ぐ気持ちがないから「跡を継がせない」と公言している宮沢に対し、「跡を継いでくれたら」という意見を言ってしまったから。

ウ 長男が就活に失敗したから跡を継ぐという安易な考えでは足袋業者の仕事は勤まらないから「跡を継がせない」と考えている宮沢に対して、「跡を継いでくれたら」という意見を言ってしまったから。

(三) ③、⑤ にあてはまる最も適当なことばを、次のアからクまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア さらに イ そして ウ だが エ だから
オ たとえば カ つまり キ なぜなら ク やがて

四 次の古文を読んで、あとの一から四の問い合わせに答えなさい。
(本文の一の左側は現代語訳です。)

はるかなる世界にかき離れて、幾年あひ見ぬ人なれど、ふみといふものだに見つれば、ただ今さし向かひたる心地して。
ては、思ふほども^{續けやらぬ}心の色もあらはし、^{言はまほしきこと}
^{むしろ}^{言いたいこと}まごまと書きつくしたるを見る心地は、めづらしくうれしく、^{あひ向}
かひたるに劣りてはある。

つれづれなるをり、昔の人のふみ見出でたるは、ただ^{その}をりの心地して、いみじくうれしくこそおぼゆれ。まして、なき人などの書きたるものなど見るは、いみじくあはれに、^③の多くつもりたるも、ただ今筆うちぬらして書きたるやうなるこそ、かへすがへすめでたけれ。
(『無名草子』による)

(四) ④ わかつてはいることだが、言われた途端、宮沢は胃のあたりが重くなる感覚を覚えた。とあるが、このときの宮沢の心境として最も適当なものを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 計算の苦手な宮沢にとって、銀行へ話をしに行くことはとても苦痛なことだったから。

イ 業績が思わしくない中で、銀行に行つてお金が借りられないかもしない。

ウ 銀行の担当者が苦手なタイプなので、その担当者と話さなければならぬことを考えるとつらいから。

エ 本来は富島の仕事だと思つてゐるのに、自分が銀行に行かなければならぬことになつてしまつてゐるから。

(五) (A)から(D)にあてはまる坂本のことばを、次のアからエまでのなかでそれぞれを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 「正直、いまの営業品目だけでは厳しいと思うんですよ。何か考えてもらえませんか」
イ 「地道な営業努力はもちろん必要なんですが、もつと違う発想で会社の将来をお考えになつてもいいんじゃないですか」
ウ 「新規事業とか、どうですか。足袋や地下足袋製造を続けたとして、十年後、あるいは十五年後もいまと同じような業績を上げられるでしょうか」
エ 「努力されていることは、よくわかつてゐるんです。ですが、世の中の趨勢として、やつぱり足袋や地下足袋の将来性というのは、どうなんでしょう。足袋そのものは無くならないと思いますが、動物でいえば絶滅危惧種みたいなど」、あるじゃないですか」

(一) ① あひ向かひたるに劣りてはある。の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 直接向かい合つて話すのが一番良い。
イ 直接向かい合つて話すのと同じだ。
ウ 向かい合うと欠点が見えてくる。

(二) ② そのをり のさす内容として最も適当なものを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 手紙を受け取つた時
イ 手紙を見つけた時
ウ 昔の人が亡くなつた時

(三) ③ 「③」にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでのなかで選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 歳月 イ ふみ ウ 心地 エ ちり

(四) ④ 次のアからオまでのなかで、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 普段は言えないことを、手紙にはかえつて素直に書くことができる。
イ 昔の知り合いからもらつた手紙を読むことで悲しみが深まる。

ウ 手紙は気持ちを伝えるのに便利な道具だが、歳月がたつと色あせてしまう。
エ 手紙にこまごまとした詳しいことをかく人はめずらしいので驚いてしまう。

オ 亡くなつた人の手紙を見て、返事を書くことは、とても感動的である。
(問題はこれで終わりです。)

第一時限 解答用紙

玉

語

※100点満点